

福島県立医科大学附属病院

平成23年度 第3回

臨床腫瘍セミナー

口腔をめぐる問題 — 口腔のがん・口腔ケア —

演題

口腔がん治療コンセプト
の推移

講師

財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
口腔がん治療センター長 瀬戸 皖一先生

日時

平成23年7月19日(火)
18:00~19:00

場所

福島県立医科大学
11号館(臨床講義棟)
第二臨床講義室

●講師紹介●

1965年東京医科歯科大学歯学部卒業。その後、2年間スイス政府留学生としてバーゼル大学医学部顎顔面外科学教室に留学。1971年東京医科歯科大学大学院卒業。その後鶴見大学に赴任し、歯学部付属病院長、歯学部長を務め、30年間にわたり口腔外科の教授を務めた。2009年総合南東北病院口腔がん治療センター長。学会では、1999年から8年間(社)日本口腔外科学会理事長を務め、現在特別顧問。日本顎顔面インプラント学会理事長。2005年~2008年日本学術会議会員、現在連携会員。公益財団法人国際口腔医療財団理事長。

●講演内容●

口腔がん治療の鍵は口腔機能の回復あるいは温存にある。再建手術や顎顔面補綴の目覚ましい発展にも拘わらず、会話、摂食機能など高度で複雑な社会機能のがん摘出後に再現させるのは至難である。そこで切らずに治す放射線治療の最近の動きを含めて、口腔がん治療の今までの経緯を説明し、今後の展望を考えたい。また口腔は一般に放射線、化学療法に対して敏感で口内炎を併発しやすいので、治療の全経過中で口腔の管理が必要となる。さらに歯周が身体最大の感染門戸であることを考えると、あらゆる全麻下手術の前後にオーラルケアを行い、肺炎や心内膜炎を予防することは有意義である。

- がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます
- 本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております
- 本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します

お問い合わせ先

福島県立医科大学附属病院

臨床腫瘍センター

がんプロフェッショナル養成支援室

電話 547-1410(内線2661)

メール akiko-a@fmu.ac.jp

次回開催のお知らせ

日時 平成23年8月16日(火)18時~19時

講師 日本イーライリリー株式会社

オンコロジー事業本部長 安達進先生

内容 「医療経済について」